

平成21年10月9日  
午後2時発表  
第二管区海上保安本部

問い合わせ先

海洋情報部 海洋調査課長 小嶋

022-363-0111(内線2530)

## 東北沿岸域における最近の海況について

1 第二管区海上保安本部では、9月25日から10月8日までの間収集した海洋観測データにより、東北地方の太平洋側及び日本海側の海況を二管区海洋速報2009年(平成21年)第19号として取りまとめ、10月9日発行しました。(資料1)

### 2 海況(海流・表面水温)

#### 海流

黒潮は、北緯36度30分付近を北限として、福島県塩屋埼東南東約220km付近を南東方向に流れています。

対馬暖流は、秋田県入道埼西方約50kmを北方に向け流れています。

津軽暖流は、青森県尻屋埼での東方への張り出しは、東経142度15分付近となっており、その後は向きを変え南下して岩手県トドヶ埼付近の沿岸に添った流れが観測データから見られます。

#### 表面水温

黒潮域は、25～26台、対馬暖流域は21台、津軽暖流域は、18～19台となっています。

### 3 その他

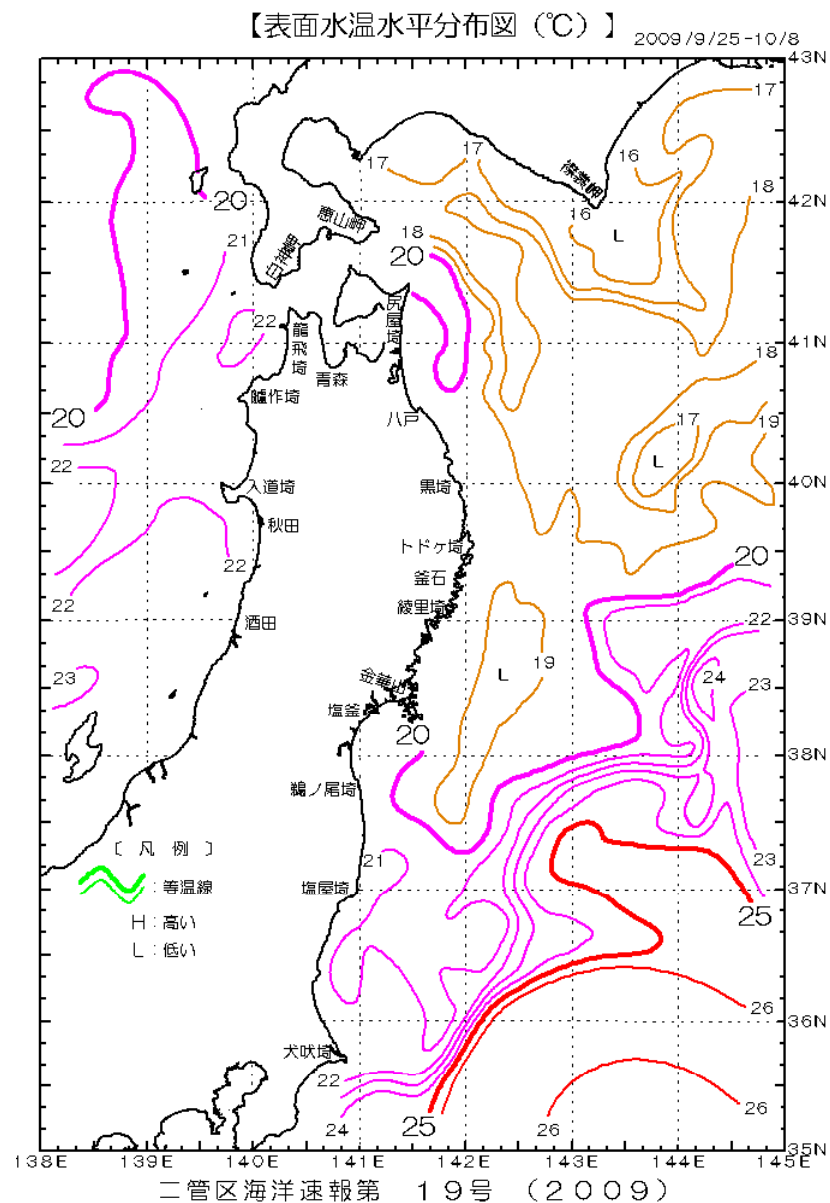
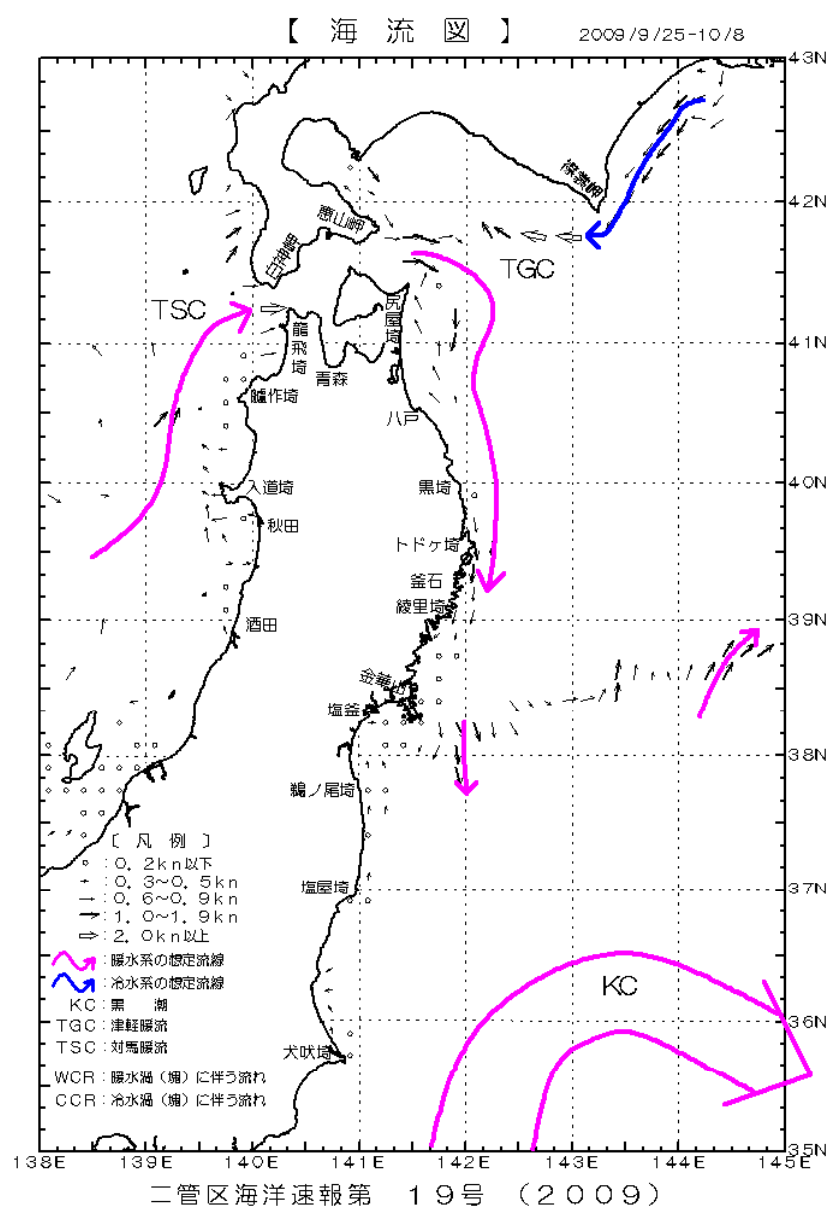
(社)漁業情報サービスセンター(JAFIC)のホームページ上掲載の大型クラゲ出現情報(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)によると、大型クラゲは、青森県尻屋埼から岩手県トドヶ埼、宮城県金華山沖、千葉県銚子沖までの沿岸部にかけて広範囲に確認されています。このことは、二管区海洋速報の海流データからも判るように日本海側から津軽海峡を通った大型クラゲが津軽暖流に乗って浮遊南下したものと考えられます。(資料2)

なお、二管区海洋速報は、海洋観測を行っている関係機関の協力のもと、毎月第二、四金曜日に発行し、漁業関係者等に情報提供しております。情報は、第二管区海上保安本部のホームページ上でもご覧になれますので、ご活用下さい。

二管区海洋速報(1998年以降)は、下記のホームページに掲載しております。

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN2/kaisyo/sokuho/index.html>

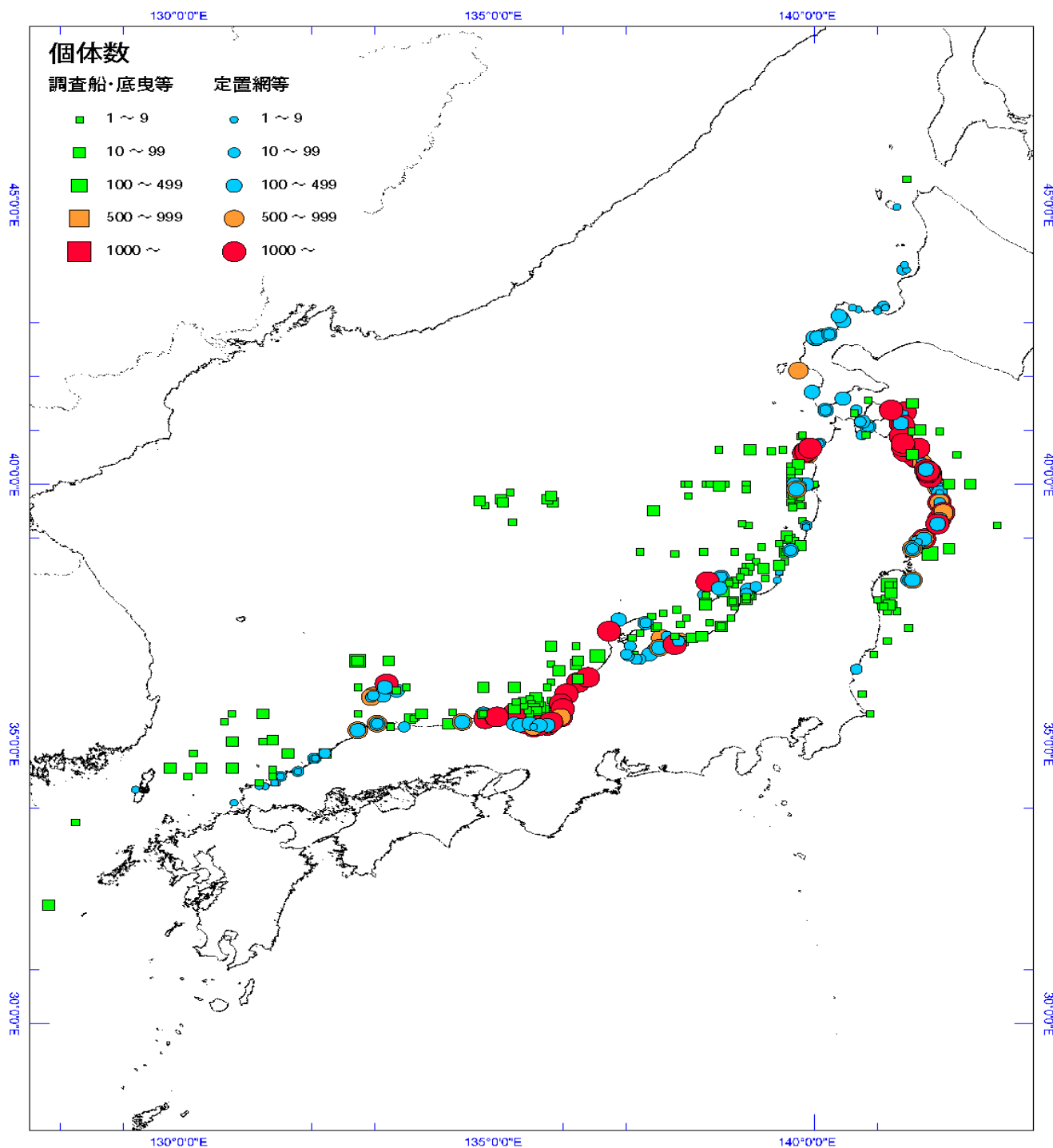
# 二管区海洋速報2009年(平成21年)第19号



2009年度大型クラゲ出現量 2009年10月8日現在

最近2週間の出現情報から、明確な数量の記載があった全てのデータで、1日あたりの底びき・調査船等からの報告(入網数、目視数)と定置網等への入網数で分けて表示してあります。報告に幅があった場合(たとえば50~100個体)は、より数量の大きい方を採用しています。海区単位の報告の場合は海区中央部に表示しており、正確ではありません。

大型クラゲ等有害生物被害防止総合対策事業  
JF/全漁連  
JAFIC/社団法人漁業情報サービスセンター  
FRA/独立行政法人水産総合研究センター



Tel. 03-5547-6888 Fax. 03-5547-6881 <http://www.jafic.or.jp/kurage/> kurage@jafic.or.jp

出所元: JAFIC/社団法人漁業情報サービスセンター